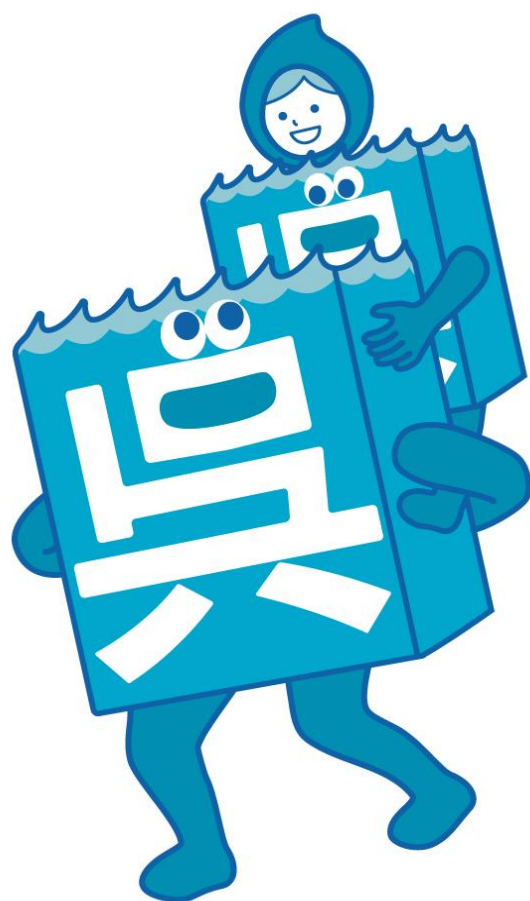


ゆ め づ く い  
事 例 集



2023

編集：呉市

「ゆめづくり事例集2023」を作成しました。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧ください、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

## ゆめづくり事例集2023目次

No	事業名	団体名
1	2023 第2地区秋のふれあいフェスタ！	第2地区まちづくり委員会
2	第3地区冬まつり	第3地区まちづくり委員会
3	第四地区防災教室	第四地区まちづくり委員会
4	防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
5	荘山田村自然公園プロジェクト	第6地区まちづくり委員会
6	2023 くれ中央 秋まつり	くれ中央地区まちづくり委員会
7	第13回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
8	ふれあいまつり	第8地区まちづくり委員会
9	第8地区とんど祭り	第8地区 まちづくり委員会, 社会福祉協議会, 自治会連合会
10	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）	ふれあい広場三条の会
11	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練	三条地区自主防災会連合会
12	川原石地区夏祭り	川原石地区まちづくり委員会
13	川原石地区合同防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
14	吉浦地区はたちの集い	吉浦まちづくり委員会
15	吉浦地区文化祭（秋・展示会）	吉浦文化団体連絡協議会
16	吉川英治文学碑記念祭	警固屋まちづくり協議会
17	警固屋学園防災参観日	警固屋まちづくり協議会
18	農業体験交流事業	警固屋まちづくり協議会
19	阿賀地区合同津波避難訓練	阿賀まちづくり推進協議会, アガデミア
20	令和5年度 阿賀地区「はたちの集い」	阿賀まちづくり推進協議会

No	事業名	団体名
21	阿賀フラワーロード事業	阿賀まちづくり推進協議会
22	第75回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
23	ひろ「もち」だんらん祭り	広まちづくり推進協議会
24	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
25	地域交流懇談会	仁方町まちづくり推進協議会
26	宮原ホタルの里開放事業・ホタル育成事業	宮原地区まちづくり推進委員会
27	みんなで防災を考える集いin宮原2023	宮原地区まちづくり推進委員会
28	地域人材活用事業	天応まちづくり委員会
29	天応地区「はたちの集い」	天応まちづくり委員会
30	青少年健全育成会・非行防止標語普及事業	昭和地区青少年補導員連絡協議会
31	郷土料理「八寸」について学ぶ会	昭和南小学校
32	第18回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会
33	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
34	各種スポーツ大会	郷原町まちづくり推進委員会
35	郷原町盆踊り・花火大会	郷原町まちづくり推進委員会
36	とんど祭り	下蒲刈町まちづくり協議会
37	令和5年度呉市下蒲刈地区はたちの集い	下蒲刈地区自治会連合会
38	防災手作りカレンダーを贈ろう	呉市川尻町まちづくり委員会
39	令和5年度川尻地区自主防災総合訓練	川尻地区自治会連合会
40	令和5年度 川尻町はたちの集い	川尻町地区社会福祉協議会



No	事業名	団体名
41	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
42	「祇園さん」再生プロジェクト	呉市川尻町まちづくり委員会
43	音戸ふれあい朝市	音戸町まちづくり協議会
44	消防車スケッチ大会	音戸町まちづくり協議会
45	音戸町消防大会	音戸町まちづくり協議会
46	早瀬大橋開通50周年記念事業	音戸町まちづくり協議会
47	音戸フェスティバル&マルシェ（音戸フェスマル）	音戸町まちづくり協議会
48	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業	宝島くらはしまちづくり協議会
49	くらはしお宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会 （お宝朝市部会）
50	宝島くらはしフェスティバル	宝島くらはしまちづくり協議会
51	令和5年度蒲刈地区はたちの集い	蒲刈地区自治会連合会
52	ビューティフルアイランド祭り	豊浜町まちづくり協議会
53	町内クリーン作戦	豊浜町まちづくり協議会
54	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
55	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業	豊浜町まちづくり協議会
56	令和5年度 第16回豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会
57	令和5年度 豊町はたちの集い	豊町まちづくり協議会

※市内で取り組まれたまちづくり活動234件（令和5年度当初件数）のうち、代表的な事業57件を紹介しています。

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	2023 第2地区秋のふれあいフェスタ！			事業費	約500,000円
事業の目的	<p>第2地区まちづくり委員会では、人と人のふれあいを大切にし、活力あるまちづくりに資することを目的として、様々なイベントを実施しています。</p> <p>その中でも、地区内のビッグイベントとして定着した「みずとひ祭り」は、人々により参加しやすいように夏季から秋季に開催時期を変更し、「秋のふれあいフェスタ！」として実施しました。</p> <p>地域内外から多くの人々が参加し、人と人のつながりや新たな交流が広がるよう、常に時代の要請をキャッチして、内容を充実させていくことが必要だと考えています。</p>				
事業概要	<p>日時：令和5年11月19日（日）9時00分～13時30分</p> <p>場所：和庄小学校校庭</p> <p>内容：「バンド演奏」（マリン・ブルー）  「落語」（ジャンボ衣笠独演会）  「ドローン体験」（呉青山中学・高等学校）  「神楽の舞」（大森神楽団）  「模擬店」</p> <p>参加者：約300名</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第2地区まちづくり委員会</p> <p>実施：各地区自治会，民生委員・児童委員，女性会，PTA，地域ボランティア  青山中学・高等学校</p>				
苦労した点	<p>地域活動の担い手の高齢化により会場準備や後片付けに不安があったが、比較的若い自治会やPTAのメンバーなどの参加でスムーズに行うことができました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>チラシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ステージ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>青山中・高等学校 ドローン体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>模擬店</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>イベント開催におけるノウハウを比較的若い役員たちに継承するきっかけづくりとなり、自治会やPTAの役員が、イベントスタッフとしても参加し、楽しみながらブース運営などにも携わっていました。</p> <p>また、多くの参加者から「楽しかった」との声もあり、コロナ禍以前の賑わい創出にもつながりました。</p>				

番号	2	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり			事業費	約200,000円
事業の目的	<p>合同防災訓練や交通安全教室を兼ねた複合イベント「冬まつり」を実施することで、安全安心なまちづくりの推進及び公的機関との連携強化による地域力向上を目指します。</p> <p>また、地域の伝統文化である「とんど」を通じて、地域住民の絆を深めるとともに、地域への誇りや愛着の醸成を図ることを目的としています。</p>				
事業概要	<p>平成22年度に30年ぶりに復活を果たした「とんど焼き」を中心とした地域の子供と大人の交流を図る事業で、今年は14回目にあたります。合同防災訓練も兼ねており、多世代間の交流と合わせて地域の安全性向上に務めることで、他者への思いやりに富んだ魅力的なまちづくりを推進しています。</p> <p>授業の一環として本通小学校の児童も事業に取組んでおり、4年生は防災に関する学習成果の発表、6年生はミニとんどの作成を行っています。</p> <p>日時：令和6年2月4日（日）9時～12時  場所：本通小学校グラウンド、体育館、理科室等  参加者：465名  合同防災訓練：防災グッズ展示説明、防災用簡易ベッド及び仕切り作成、煙中避難訓練、救急講話</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第3地区まちづくり委員会役員・地域文化の伝承部会  実施：第3地区自治会連合会・本通小学校  第3地区防災リーダー・地域内外の有志  呉市職員</p>				
苦労した点	<p>とんど製作を行うにあたり、早期からの材料調達や安全に留意した作業及び設計に努めました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、土のう構築訓練や簡易担架を用いた負傷者搬送訓練等、地域の住民のみで取り組める計画を立てて実施に結びつけました。</p>				
活動状況	 <p>簡易ベッド作成</p>		 <p>救急講話</p>		
	 <p>点火後のとんど</p>		 <p>とんど焼きの様子</p>		
活動の成果	<p>令和4年度に引続き、餅つき大会や交通安全教室、ぜんざいやとん汁の炊き出しを中止しました。昨年度と違い一般の参加者の入場を可能としました。少しずつ例年に沿った形に戻りつつあります。まちづくり委員会をはじめ各自治会の防災リーダー、本通小学校の先生や児童が協力して作り上げる更に進歩した形の「冬まつり」として、第3地区の魅力を一層高めることができたと感じています。</p>				



番号	3	団体名	第四地区まちづくり委員会	代表者	小林富子
事業名	第四地区防災教室			事業費	49,000円
事業の目的	南海トラフ地震が発生した場合、避難所生活も余儀なくされると思われる。そうした場合に備えて、地区内の長迫小学校全児童と地域住民を対象に、避難所生活はどのような生活になるのか、事前に体験しておく。				
事業概要	<p>日時：令和6年2月17日（土）午前9時00分～午後12時00分  場所：長迫小学校 屋体、校庭  内容：(1) 会長、校長あいさつ  (2) 防災講和「南海トラフ地震が発生したら、どんな被害が考えられるか」（呉市危機管理課）  (3) 感想の発表（児童）  (4) 5班に分かれ各ブース体験  ①救急訓練(AED心肺蘇生) ②煙中体験  ③避難所体験 ④非常持出 ⑤消火訓練  ※参加者に防災グッズ（ホイッスル+ライト）  参加人数：長迫小学校児童，教師120名，地区関係者90名，市・消防 10名</p>				
企画・実施した人	<p>第四地区自治会連合会，地元女性会や民児協，地区内の防災リーダー及び長迫小学校とも連携を図っている。  今年度は，体験に重点を置き，参加者全員が実際に触れて感じてやってみることで，子どもと大人が一緒に行動をすることで，地域のふれあいが深まるきっかけとする。</p>				
苦労した点	<p>児童は集中する時間が短いため，時間配分に苦労した。しかし，児童が1年生から6年生までの縦割りでグループが構成されていて，上級生のリーダーシップで地域住民を含めてスムーズな移動ができた。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>屋体へ集合</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>危機管理課による講話</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>児童による感想の発表</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>心肺蘇生訓練</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>煙中体験</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>段ボールベッド組立</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>簡易トイレ組立</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>非常持出し袋</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>消火訓練</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>児童も地域住民も自分の身は自分で守る意識と，地域のつながりが大切であることの認識ができつつある。今後は，能登半島地震を教訓に，避難所運営について防災リーダーがリーダーシップをとれるように訓練していきたい。</p>				





番号	4	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	防災訓練と防災備品整備			事業費	約700,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	第5地区では、平成23年以降毎年、明立小学校、荘山田小学校及び惣付ふれあい集会所において合同防災訓練を実施しています。中でも実技体験型防災訓練に重点を置き、各小学校区内の幼稚園～中学生も含め、いざというときに地域が一体となって避難所運営を行えるよう、訓練を実施しました。				
事業概要	地区	明立小学校区	荘山田小学校区		
	日時	令和5年7月18日(火)	令和5年12月20日(水)		
	場所	明立小学校	荘山田小学校		
	参加者	434名	693名		
	内容	防災講演、炊き出し、煙中体験、水消火器、高齢者疑似体験、車椅子体験、心肺蘇生、救急救命、段ボールベット作成、県消防保安課による地域防災タイムラインの作成についての講義、防災グッズ展示、校区内安全マップ展示 ・防災用品収納倉庫：H23：4か所新設、1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24：5か所新設 H25：2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み)、炊き出し用釜2セット購入 H26：炊き出し用釜2セット、大型扇風機10台、発電機2台、会議机29台購入 H27：大型ストーブ4台購入 H28：テント29台購入 H29：リヤカー7台、担架10台、車いす4台、大型扇風機4台購入 R 元：避難所用簡易テント4台、非常食1,000食備蓄 R 2：新型コロナウイルス対策用物品、小型発電機(燃料：ガスボンベ使用) R 3：ソーラーパネル蓄電池4セット、大型扇風機10台、防災用ライト100セット カラーコーン、コーンウェイト100セット、コーンバー60本 R 4：防災用ライト200セット、非常食1,300食備蓄 R 5：非常食1,000食、5年間保存水600本備蓄			
企画・実施した人	主催：各校区の自主防災会連合会、共催：まちづくり委員会・地区社協・地区自治連、協力：呉市(危機管理課・消防署等)・呉市社協・民生児童委員・女性会・校区内の幼稚園・小・中学校・PTA				
苦勞した点	3年ぶりに、参加者の制限もなく、炊き出し等様々な体験も復活したため、スケジュール管理に苦勞しました。荘山田小学校区においては訓練参加予定者数が増加したため、防災訓練実行委員も増員して、打合せも綿密に行いました。				
活動状況					
活動の成果	毎年、繰り返し防災訓練を実施することで、防災意識の向上につながっています。体験に重点を置いた訓練内容とすることで、児童や生徒は災害時、支援の必要な方に寄り添い、配慮する方法について考えるきっかけとなりました。体験する訓練内容も年齢や目的によってグループ分けすることで、効果的・効率的に分散して実施し、各グループ充実した訓練となりました。				



番号	5	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	荘山田村自然公園プロジェクト			事業費	約120,000円
事業の目的	地域の遊休地整備を行い、かつてどこの地域でもあった「里山」の復活を目指すことで、自然の大切さを地域で共有します。地域の宝として整備した自然公園を大切に、子どもたちに自然を感じてもらいながら、世代間交流を図るとともに、地域に愛着を持ってもらうことを目的としています。				
事業概要	<p>環境保全活動や自然体験活動などを通じ、自然とふれあい、その大切さを地域内で共有する取り組みです。昔は田畑があり手入れされていましたが、遊休地となっている土地を、眺望が素晴らしい隠れた地域の名所として復活させるため、150本ほどの数種類の桜を植え、開花時期の違いから四季を通じて桜を楽しめる自然公園として整備しています。</p> <p>【場所】 江原地区一体の丘の上  【会議】 毎月第3木曜日  【現場整備】 毎月第4土曜日午前中  【イベント】 (春) 4月 「春の里山祭！大なべ汁2023」 → 78名参加  (秋) 11月 「秋の里山公園祭！やきいも2023」 → 27名参加  イベントは、春・秋に毎年開催。  【広報】 毎月発行する地域コミュニティ紙「今ドキっかわらばん」に掲載</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会内の荘山田村自然公園プロジェクトが中心となって企画立案するとともに、社会福祉法人かしの木や事業に賛同する人たちが協力して作業に当たります。賛同する方々には、ボランティア登録をしてもらい、公園整備に参加してもらっています。				
苦労した点	毎月定期的に会議を行い、作業内容等を確認し公園整備を行っていますが、近年はイノシシによる被害が大きくなっています。6月～9月は活動開始時間を早め、作業時間を短縮するなど、炎天下時の活動にも留意しています。				
活動状況	 <p>春の里山祭！大なべ汁2023</p>		 <p>桜の木も大きく育っています</p>		
	 <p>アサギマダラが飛来しました</p>		 <p>秋の里山公園祭！やきいも2023</p>		
活動の成果	荘山田村自然公園プロジェクト始動から、10年が経過し、イベントには市外からの参加も増えにぎわっています。10月にはアサギマダラの飛来も確認でき、新たな魅力のひとつになったと感じています。				






番号	6	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	木村 公一
事業名	2023 くれ中央 秋まつり			事業費	約1,000,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないため、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、例年は「くれ中央地区夏まつり」を実施していましたが、コロナ感染が拡大しており大規模な開催が難しくなってしまう、感染防止対策の徹底をはかり地域の皆様に喜んで参加して頂くイベントを開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和5年10月7日（土） 10時～15時  場所：中央公園噴水西側  内容：オープニング  ボーイスカウト呉第12団、ガールスカウト広島第6団 音楽隊演奏演技  ガールスカウト ブラウニー演技（呉氏も一緒にダンス）  ゲームコーナー  スーパーボールすくい、お宝つり、フリマ・お菓子くじ、ビンゴ・輪投げ、飲食コーナー  かき氷、フライドポテト、焼きフランクフルト、飲み物、</p> <p>来場者：約1,800名</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>コロナが5類に移行したため、来場者の皆さんに楽しいひとときを過ごしていただくことができるよう、模擬店の出店を再開し、またこども広場でのゲームなどに趣向を凝らしました。</p> <p>早々と完売する模擬店もあれば、なかなか売れない模擬店もありましたが、どのブースもにぎやかに盛り上がっていました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ボーイスカウト呉第12団でオープニング</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>子供達のダンス</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ゲームを楽しむ子供達</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>会場の様子</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>参加された地域の皆様達の笑顔が溢れ、団体と地域との連携や、世代間交流、地域の団結にもつながり、開催できて本当に良かったです。</p>				







番号	7	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	木村 公一
事業名	第13回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約30,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています</p>				
事業概要	<p>日時 令和5年6月17日（土） 午前9時～午後1時</p> <p>参加者 約80名</p> <p>内容 散策コース 約6km 中央公園→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園（折り返し） 二河川沿い→共済病院→中央学園→中央公園（ゴール）</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会（メンバー10人）が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員（健康くれ体操）などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>平成28年より、まるごと中央地区と題して、中央地区を一周するコースを基本に設定しました。</p> <p>お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>準備運動（健康くれ体操）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>散策コース（市役所前を通過）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>大和ミュージアム前を進行中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>二河川公園で一休み</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地域住民の健康意識を高めると共に、世代間交流の場にもなりました。</p>				



番号	8	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	大世渡 隆臣
事業名	ふれあいまつり			事業費	約697,000円
事業の目的	「ふれあいまつり」を、第8地区における地域福祉、地域協働のシンボルイベントに位置づけ、地域内外の人々と交流を図る機会とするとともに、イベントをとおして、地域住民の絆を深めることを目的として開催しています。				
事業概要	<p>◇日時：令和5年9月24日（日） 11時00分～14時00分</p> <p>◇場所：二河川公園及び河川敷（呉共済病院前）</p> <p>◇参加人数：約200人</p> <p>◇内容：（1）出店コーナー          ・たこ焼き ・唐揚げ ・焼き鳥 ・コロッケ ・ホットドッグ          ・おにぎり ・かき氷 ・ビール ・お茶 等</p> <p>（2）子ども会コーナー          ・ヨーヨー釣り          ・スーパーボールすくい 等</p> <p>（3）お楽しみ抽選会</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会，地区社会福祉協議会，自治会連合会，地区民生委員児童委員協議会，青年団，消防団など				
苦労した点	新型コロナウイルス感染症の影響により，4年ぶりの開催となったため，祭りの内容の見直しや開催時期の変更を行いました。				
活動状況					
活動の成果	<p>小さな子どもから大人の方まで，多世代の方々が参加されており，久しぶりのお祭りを楽しまれていました。</p> <p>地区内のお年寄りから子どもまでが集まり，世代間交流に繋がりました。</p>				

番号	9	団体名	第8地区 まちづくり委員会, 社会福祉協議会, 自治会連合会	代表者	大世渡 隆臣 松浦 泰三 大畠 正
事業名	第8地区とんど祭り			事業費	250,000円
事業の目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、まちづくり委員会と地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団などの協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地域全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業概要	<p>◇日時：令和6年1月21日（日） 13時00分点火～</p> <p>◇場所：二河川公園，二河川河川敷</p> <p>◇参加人数：約300人</p> <p>◇内容：とんど（二河川河川敷）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年団を中心に、ワラや竹（1.6m）などの材料を調達して、1月14日にとんどの「やぐら」を組みました。</li> <li>・会長あいさつの後、その年の干支生まれの人たち（年男年女）によってとんどに点火しました。</li> <li>・笹酒（竹筒で温めた酒）で無病息災を祈りました。</li> <li>・ぜんざいやお餅を用意し、参加者へ振る舞いました。</li> <li>・海外からの留学生や研修生が参加し、自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、笹酒を飲んだりして日本の伝統文化を経験しました。</li> <li>・参加した子どもたちにはお菓子の詰め合わせを配りました。</li> </ul>				
企画・実施した人	まちづくり委員会，地区社会福祉協議会，自治会連合会，地区民生委員児童委員協議会，青年団，消防団など				
苦労した点	とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。 特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。				
活動状況	     				
活動の成果	今年も多くの地域の方が参加し、交流をすることができました。 また、海外から多くの留学生の参加があり、地域との交流を深めました。				



番号	10	団体名	ふれあい広場三条の会	代表者	力安 鈴子
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をふれあい広場三条の会が借り受け、平成24年9月に開設し10年を迎えました。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてふれあい広場三条の会のボランティアスタッフが担当する手作りの施設です。</p> <p>季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたいと頑張っています。</p> <p><b>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営されておられます。</b></p>				
事業概要	<p>場所：呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 （平成24年9月8日オープン）</p> <p>活動時間：毎週月曜日～土曜日（日曜・祝日は休所日）10時～16時30分</p> <p>面積：（間口）3m×（奥行）12m＝約36㎡（約11坪） 家賃 3万円/月</p> <p>利用料金：無料（お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円（夏季限定）で提供） 誰でも無料で利用できる無料休憩所</p> <p>運営体制：1日3人のボランティアにより運営（合計19人役/週）</p> <p>メンバー：三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</p> <p>利用実績：最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人 ・平日はお茶やコーヒーをいただきながらの気まぐれおしゃべり会</p> <p>イベント：4月…お花見会 6月…七夕飾りづくり 7月…夏祭り （例年）10月…ハロウィン 12月…クリスマス会 2月…節分豆まき 3月…震災を忘れないための11コンサート</p> <p>その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」などを開催</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい広場三条の会</li> <li>・誰でも（特に高齢者）が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名</li> <li>・ふれあい広場を開設するにあたり、「ふれあい広場三条の会」を設立</li> <li>・まちづくり委員会から財政支援（家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備）と人的支援を受けています。</li> </ul>				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の増加か事業の多様化に伴い、スペースの手狭感が増えています。</li> <li>・常駐するボランティアスタッフの確保（後継者の確保）</li> <li>・自主財源の確保</li> </ul>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>七夕祭り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11コンサート</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>第9回ふれあい広場夏祭り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第9回ふれあい広場夏祭り</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地域の誰もが自由に立ち寄り、交流できる場を提供する目的として会を立ち上げ、今では、高齢者が、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用し、特に男性の居場所に活用されている。</p>				

番号	11	団体名	三条地区自主防災会連合会	代表者	山上 文恵
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	157,194円
事業の目的	<p>・毎年、小学生から高齢者までの各自が主体性を持って、消火器や水消火器による消火訓練、煙中体験、ロープ結索訓練、人口呼吸等の救急・救命訓練、簡易担架による搬送訓練など5つの訓練に取り組み、災害時における自助・共助での地域力向上を図っています。</p> <p>・急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみんで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育んでいます。</p>				
事業概要	<p>・日 時 令和5年6月3日(土) 午前9時30分～午前12時</p> <p>・参加者 地域住民 61名が両城小学校生徒 124名・P T A 77名と一緒に、西消防署・消防団 17名の計279名</p> <p>・訓練内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 次の訓練をグラウンドで実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水消火器とボード板を使用した消火訓練</li> </ol> </li> <li>2 次の訓練を体育館内で実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 心肺蘇生訓練用道具をつかった心臓マッサージ等の救急・救命訓練</li> <li>(2) 毛布を使つての搬送訓練</li> </ol> </li> <li>3 次の訓練を図書室内で実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 火災時の煙中体験</li> </ol> </li> </ol>				
企画・実施した人	三条地区自主防災会連合会				
苦労した点	<p>自治会と学校を中心に広報して、小学生から高齢者まで多くの人に参加してもらっています。</p> <p>今年度も新型コロナ感染拡大防止も考慮し、3密にならないよう人と人との間隔をあけたり、訓練時間を短くしました。</p>				
活動状況	 <p style="text-align: center;">防災訓練の様子</p>				
活動の成果	<p>小学校が地域の避難所になっており、災害時にはどのように行動していくかなど、地域に住む住民自身が、地域の防災情報を共有して、災害時には慌てず冷静に素早く安全に避難ができるように考えてもらうことが出来ました。</p>				



番号	12	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区夏祭り			事業費	約450,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、地域文化の継承と地域住民の交流や絆づくりのため、平成29年度まで「川原石盆踊り」を実施していました。</p> <p>その後、豪雨災害やコロナ禍により中止を余儀なくされていましたが、今年度から「川原石盆踊り」の後継事業として「川原石地区夏祭り」を開催することとし、開始年度となる今年度は、お年寄りから子どもまで楽しめる寄席や神楽を鑑賞し、地域住民の交流や絆づくりに取り組みました。</p>				
事業概要	<p>◇第1弾：寄席 日 時：令和5年7月23日（日） 14時00分～16時00分 場 所：二川まちづくりセンター 参加者数：約80名</p> <p>◇第2弾：神楽 日 時：令和5年8月27日（日） 14時00分～15時30分 場 所：クレイトンベイホテル 参加者数：約120名</p>				
企画・実施した人	川原石地区まちづくり委員会が企画・実施しました。				
苦労した点	川原石地区のスローガンである『住みたい町川原石 私も子供も その孫も』を目指し、多くの地区住民が参加できる魅力あるイベントにするため、どのような内容にするかを時間をかけて話し合いました。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第1弾 寄席</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>第2弾 神楽</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>				
活動の成果	地区内のお年寄りから子どもまで多くの参加があり、地域住民の交流に繋がりました。				

番号	13	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の危険性が大きいと考え、毎年、土砂災害等に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度は、広島県防災アドバイザーによる「防災より重要！減災とは今すぐできる7つの備え」、広島県消防保安課による「地域防災タイムラインについて」の防災講話と、消防局・消防団による「救急法・搬送法」、呉市危機管理課による「段ボールベットの組立」などの幅広い実技体験を通じて、災害に備える地域住民の意識向上を図る訓練を実施しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和5年11月26日（日） 9時00分～11時30分</p> <p>場所：二川まちづくりセンター</p> <p>参加者数：約120名</p> <p>内容：(1) 防災講話：広島県防災アドバイザー，広島県消防保安課による防災講話  (2) 防災訓練：救急法（心肺蘇生法・AED訓練）  搬送法（竹・毛布等を使った搬送訓練）  緊急時の生活備品（段ボールベット）の作り方</p>				
企画・実施した人	川原石地区自主防災連合会と川原石地区まちづくり委員会が中心となり，広島県防災アドバイザー，広島県消防保安課，呉市危機管理課，呉市消防局西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦労した点	実際の災害時に即した訓練にするため，どのような内容にするかを関係機関等と綿密に話し合いました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災講話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急法</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>搬送法</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>段ボールベット作成</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>参加者一人ひとりが自分や家族，地域の方の身を守るための知識や技術を習得するため，真剣に話を聞き，訓練する姿が見られました。</p> <p>毎年，防災訓練を繰り返し実施することで，防災意識の向上につながっています。</p>				



番号	14	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	藤岡 豪
事業名	吉浦地区はたちの集い			事業費	約400,000円
事業の目的	はたちを迎えられる方に対してはたちの節目をお祝いし、家族や友人、地域との繋がりをより深める機会とすること。				
事業概要	<p>日時：令和6年1月7日（日） 10時～</p> <p>場所：吉浦まちづくりセンター 4階ホール</p> <p>対象者：令和5年度に20歳を迎える方</p> <p>内容：（1）式典の部 国歌斉唱、主催者挨拶、来賓祝辞、記念品贈呈、花束贈呈、はたちの誓い、呉市歌斉唱</p> <p>（2）アトラクションの部 認定こども園落走保育園による和太鼓、歌の披露 思い出の場面スライドショー 吉浦中学校吹奏楽部による演奏</p> <p>（3）参加者集合写真（後日全員に送付）</p> <p>（4）はたちの交流会</p> <p>参加者数：はたちの方 46名</p>				
企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会				
苦労した点	遠方からの出席者が参加しやすいよう、関係者と協議・調整し三連休中日の開催に変更した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>花束贈呈</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>はたちの誓い</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>認定こども園落走保育園の和太鼓</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念撮影</p> </div> </div>				
活動の成果	地域の団体（自治会連合会、女性会、民生委員児童委員協議会）及び認定子ども園・吉浦中学校が力を合わせてはたちの方をお祝いし、はたちの方の地元への愛着を深めることができた。また、地域の活性化を図ることができた。				

番号	15	団体名	吉浦文化団体連絡協議会	代表者	大年 秀基
事業名	吉浦地区文化祭（秋・展示会）			事業費	約60,000円
事業の目的	まちづくりセンターを拠点として活動する講座やサークル等の成果を発表することで今後の活動の励みとし、ひいては地域の文化向上に資するため。				
事業概要	<p>日 時：令和5年11月11日（土）9時～17時 令和5年11月12日（日）9時～15時</p> <p>場 所：吉浦まちづくりセンター 4階ホール</p> <p>場 内 容：吉浦文化団体連絡協議会に属する団体，まちづくりセンターの講座の受講生、地域で活動されている方々の作品を展示</p> <p>出展者数：17団体（個人） 来場者数：584人</p> <p>出 展 者：成人書道（講座）・書写水曜日（講座）・女性書道（講座）・水墨画同好会 実用の書と筆ペン（講座）・盆栽同好会・絵手紙（講座）・絵画（個人） 水彩画（個人）・革細工（個人）・リース（個人）・手芸（個人2組） 吉浦女性会・吉浦体育協会・吉浦中学校・吉浦地区社会福祉協議会</p>				
企画・実施した人	吉浦文化団体連絡協議会（事務局：吉浦まちづくりセンター）				
苦労した点	今回からバザー（食堂）も復活し、コロナ禍前と同様の開催となったが、バザー運営に関するノウハウが失われており、準備段階から大きな戸惑いの中試行錯誤した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>鑑賞の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆栽同好会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>成人書道</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>絵手紙</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>革細工</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>バザー（食堂）</p> </div> </div>				
活動の成果	日頃の活動の成果を披露する場を設けることで今後の活動に向けた節目となった。また、多くの方に鑑賞していただくとともに、バザー会場は吉浦町民のふれあいの場となったことで地域の絆づくりの一助となった。				



番号	16	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	吉川英治文学碑記念祭			事業費	約40,000円
事業の目的	吉川英治が「新平家物語」を執筆する際、音戸の瀬戸を訪れたことにちなみ設置された「吉川英治文学碑」の設置日である5月3日にイベントを開催することにより、地域住民並びに音戸の瀬戸来訪者に警固屋地区の重要な文化的、観光的資源について再認識してもらうとともに、広く知名度の向上を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和5年5月3日（水・祝） 10時～11時</p> <p>事業内容：  (1) 記念式典  (2) 記念碑への献花</p> <p>参加者数：参加者 20名  運営スタッフ等 20名  合計 40名</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会				
苦労した点	警固屋地区における恒例行事となるイベントであるが、大型連休中であることや新型コロナウイルス感染拡大防止の影響をまだうけていたため、昨年同様飲食ブースや写生大会等の催しは中止とし、式典行事と献花のみを実施した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>イベント当日は晴天に恵まれました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念式典の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>吉川英治文学碑への献花</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>式典では読書に親しんだ警固屋学園の児童生徒への表彰が行われました</p> </div> </div>				
活動の成果	行事当日は観光で音戸の瀬戸公園を訪れた観光客も多く、音戸の瀬戸公園並びに吉川英治文学碑の存在を内外にPRすることができた。				

番号	17	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	警固屋学園防災参観日			事業費	約50,000円
事業の目的	<p>学校（児童・生徒・教職員），保護者等が，協働的に防災学習及びAEDの操作研修等を行うことによって防災意識を高め，自然災害などに備える。</p> <p>この防災学習等を通して，消防局・警察・行政等の「公助」だけでなく，家族による「自助」（自分の命は自分で守る），警固屋地区の住民による「共助」（共に助け合う）の力を養うことを目的とする。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和5年11月25日（土）9時～12時</p> <p>事業内容：ビデオ等による防災学習及び心肺蘇生，AED講習等</p> <p>参加者数：約200名 （児童・生徒・保護者・消防局・消防団・まちづくり協議会役員）</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会・警固屋学園				
苦労した点	<p>より多くの人に積極的に防災に関するビデオ学習や心肺蘇生術，AED操作研修を体験してもらうことでいざという時のために目的の「公助」だけでなく，「自助」・「共助」の意識を高めてもらうことに注意をはらった。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>多くの参加者の元，研修が行われました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ビデオ学習</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>心肺蘇生術講習</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>AED講習</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>学校（児童・生徒・教職員），保護者等が，協働的に防災学習・研修を行うことによって防災に対する意識を高めることができた。</p>				



番号	18	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	農業体験交流事業			事業費	約40,000円
事業の目的	<p>警固屋小学校の1年生の児童を対象に、農作業体験や収穫体験をさせるとともに、焼き芋を焼いて子どもたちに食べてもらうことで、地産地消や食育について学ぶ機会を設ける。</p> <p>また、地域住民にも事業へ参加してもらうことで、子どもたちと地域住民の交流促進を図る。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和6年1月16日（火） 9時～11時00分</p> <p>場 所：警固屋6丁目11番付近の畑</p> <p>事業内容：  (1) 野菜の収穫体験  (2) 焼き芋の試食</p> <p>参加者数：約40名  (1年生児童・教諭・まち協役員・農協職員・地域ボランティア)</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会 警固屋第11区自治会有志・警固屋小学校				
苦労した点	<p>地域の方々が積極的に参加して運営してくれたため、終始地域の方主導で事業を進めることができた。</p> <p>畑のお世話は、イノシシ等の鳥獣被害に悩まされながら、年間を通しての気温上昇のため、なかなか野菜が生長しない中、いつもより遅い時期となってしまった。しかし、ボランティア精神旺盛な11区自治会有志の方が主になっていただき、警固屋小学校、警固屋まち協の方々から感謝されている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>児童と地域の方々との交流も深まりました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>野菜の収穫体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>野菜の収穫体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>美味しい焼き芋</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>子どもたちと地域の方々が一緒になって農作業体験をすることで、地産地消や食育について学ぶ機会を設けることができた。</p> <p>また、子どもたちと地域住民の交流促進を図ることができた。</p>				

番号	19	団体名	阿賀まちづくり推進協議会 アガデミア	代表者	加藤 忠二
事業名	阿賀地区合同津波避難訓練			事業費	20,000円
事業の目的	大規模な地震が発生し、津波が到達する状況を想定して、阿賀地域の皆さんに避難先、避難経路等を確認するとともに災害対策の意識を高めてもらうため。				
事業概要	<p>日時：令和5年10月11日（水）14時～15時30分  場所：阿賀地区及び阿賀市民センター 3階ホール  スケジュール：13時30分 防災無線、消防広報車等で「訓練予告」放送  14時00分 地震発生想定「訓練開始」（緊急地震速報）  14時05分 津波到来予測想定「避難開始」（津波警報）  →『標高10m以上の高台』を目指して避難  防災研修：テーマ「災害時の応急措置」  14時40分～15時30分  広島文化学園大学 看護学部の学生（講師）</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会 阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）				
苦労した点	コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となり、経験者がいなく消防、警察、学校等との調整が苦労した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid green; border-radius: 5px; padding: 2px; color: green;">避難訓練の様子</p>  </div> <div style="width: 48%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">防災研修の様子</p>  </div> <div style="width: 48%;">   </div> </div>				
活動の成果	訓練を経験することで、地震・津波等の脅威を認識するとともに、一人ひとりが安全・確実に避難するための避難経路、避難場所、一時避難施設などを確認し、それに伴う心構えと備えについて学べた。				



番号	20	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	令和5年度 阿賀地区「はたちの集い」			事業費	500,000円
事業の目的	阿賀地区在住及び阿賀地区出身の二十歳(はたち)の人を祝うため、記念式典を実施する。				
事業概要	日時：令和6年1月8日(月・祝) 11時～ 場所：阿賀市民センター 3階ホール 内容：記念式典 国歌斉唱 主催者挨拶 はたちの誓い(新成人より男女各1名) 呉市歌斉唱 記念写真撮影(集合写真) 記念演奏会(呉市立呉高等学校吹奏楽部) はたちの同窓会(恩師を囲んで)				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	コロナ禍後の通常開催でコロナ禍前の開催を知っている職員が少なく段取りに苦労した。				
活動状況	 <p>はたちの誓い</p> <p>記念演奏</p> <p>記念写真撮影</p>				
活動の成果	今回は4年ぶりに記念演奏会(呉市立呉高等学校吹奏楽部)があり式に華を添えた。また、コロナ禍で中止していたはたちの同窓会も行われ、恩師の先生ともども楽しい時間を過ごせた。				





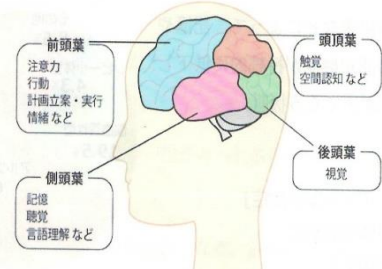

番号	21	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	阿賀フラワーロード事業			事業費	200,000円
事業の目的	阿賀の豊栄地区には、阿賀小学校、阿賀中学校、市立呉高校、呉工業高等専門学校、呉南特別支援学校、広島文化学園大学、呉高等技術専門学校など多くの学校が集中しており、阿賀学園地域教育連携協議会「アガデミア」を構成して学校・地域の連携を図っています。本事業は事業を開始して13年となり、まちづくりの一環として定着しています。アガデミア学校周辺の通学路にフラワーポットを設置し、花いっぱいの道とすることで、子どもたちや地域の人たち、通行する人たちの心を和ませることを目的としています。				
事業概要	令和5年12月18日に広島県立呉南特別支援学校の中学校の生徒の皆さんと地域のボランティアの方で学校横の県道沿いにある「虹の花壇」にパンジー、ビオラ、スーパーアリッサムの苗植えを行いました。また、令和6年1月30日には阿賀小学校3年生とボランティアの方でプランターにチューリップなどを植え沿道に設置しました。阿賀中学校、市立呉高校、阿賀小学校近くの民間企業の方も同時期に花を設置しました。				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	特になし				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉南特別支援学校</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>阿賀小学校</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 25%;">  </div> <div style="width: 25%;">  </div> <div style="width: 25%;">  </div> <div style="width: 25%;">  </div> </div>				
活動の成果	学生や車が多く行き交う場所であるため、通行する人が心を和ませており阿賀まちの発展に貢献した。				

番号	22	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第75回 広地区教育祭			事業費	3,000,000円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>例年、11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、教育功労者表彰式、文化講演会、交流広場などを開催している。</p>				
企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会  共催：呉市  主管：広地区教育祭実行委員会  後援：呉市教育委員会  ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整、参加者（団体）の事前準備</p>				
活動状況	<p>■教育功労者表彰式 11月23日（木・祝）広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人8名を表彰した。</p>  <p>■交流広場では地域の特産品の販売や高校生による大書揮毫などを披露し、多くの方に楽しんでもらった。</p>				
活動の成果	<p>文化講演会は、元広島東洋カープ 安部友裕氏とRCCアナウンサー 横山雄二氏による初コラボ企画の講演を行い、多くの方の参加を得た。  野球に取り組む姿勢やメンタルのコントロールの方法など、自分たちが生活していく上で役立つ話を聞くことができた。  今後は、学生等に物事に対する考え方や活動方法を伝えていき、将来広地区を支えてもらえる人材を育成していく。</p>				


番号	23	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	ひろ「もち」だんらん祭り			事業費	350,000円
事業の目的	日本の伝統文化である餅つきを中心に世代を超えた交流を行うことによって、人と人との繋がりをつくり、後世に伝えることを目的とする。				
事業概要	12月の日曜日に、餅つきや地域の魅力を発信する店舗・キッチンカーなど、広地区を盛り上げてくれるメンバーで開催した。 また、地元ソプラノ歌手によるロビーコンサートも開催し、未就学児はもちろんのこと、多世代が楽しめるイベントとして位置づけている。				
企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会（Replace・ひろまちdesign factory）				
苦労した点	場所を広市民センター駐車場に変更したため、参加者確保のため多くの方に周知依頼した。				
活動状況	<p>■12月24日（日）に広市民センター駐車場において、広町の魅力を多くの方に見てもらい、体験してもらった。</p> <p>餅つきでは、まちづくり協議会のメンバーと地域の子どもたちが一緒になって「よいしょー」とかけ声をかけながら、お餅をつきました。</p> <p>地域の魅力発信コーナーでは、地元の食材を使った「ひろバーガー」やみかんの詰め放題など、地元感満載の内容であった。</p> <p>子どもたちに大人気の呉氏スライダーを設置し、子どもたちはもちろんのこと、国道を走る車の方にもPRすることができた。</p>				
活動の成果	<p>予想以上に未就学児や小学生が参加してくれた。必然的に保護者の方も参加してくれたため、今後のまちづくりに協力してもらえると感じた。</p> <p>また、今年度は地元企業の方と連携して、子どもたちが体験できるコーナーを設置した。</p> <p>多くのことを体験することによって、子どもたちの将来の夢に繋がればという思いで実施した。</p> <p>これからは、人と人との繋がりを大切に、広町が中心となり、他ではできないことに取り組んでいけると実感した。</p>				




番号	24	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大谷 寛和
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	143,885円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難経路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時：令和5年6月3日（土） 9時15分～12時00分  場所：仁方小学校（体育館）  内容：①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「避難指示の発令」の広報を実施</p> <p>②自治会・自主防災会組織，東消防署，消防団が連携協力して，避難の呼びかけや避難誘導を行いながら，各地区指定場所に集合し，仁方小学校に避難</p> <p>③仁方小学校に到着後，東消防署の指導により煙中疑似体験などの訓練を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・煙中体験 スモークマシンによる煙中の疑似体験</li> <li>・てんぷら油火災実験 てんぷら油火災発生状況の体験</li> <li>・心肺蘇生法 AED講習</li> <li>・消火訓練 消火シュミレーターによる消火訓練を実施</li> </ul> <p>④防災講話  演題 「自然災害から自分を守る行動」  講師 くれ昭和自主防災連合協議会 会長 松田政和さん</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	災害時において，どのように対応するか，各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	 <p>てんぷら油火災実験</p>		 <p>心肺蘇生法</p>		
	 <p>消火訓練</p>		 <p>防災講話</p>		
活動の成果	自治会・自主防災会組織，消防署，消防団が連携協力して，避難の呼びかけや避難誘導を行い，避難経路，避難場所などを確認することにより，防災意識の高揚を図った。				

番号	25	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大谷 寛和
事業名	地域交流懇談会			事業費	0円
事業の目的	仁方の福祉について、講演、意見交換等を通して、住みよい仁方のまちづくりを考える。				
事業概要	<p>日 時：令和6年1月27日（土） 10時～11時30分          場 所：仁方まちづくりセンター3階ホール          テーマ：仁方っていいなあ。そんなまちづくり          ～ふれあい・支え合う福祉のサービス～</p> <p>内 容：①開会式          ②講演1「お互いさまの地域づくりを目指して」          講師：呉市社会福祉協議会 渡川 美穂さん          演題2「認知症について」          講師：広島県呉・江田島認知症疾患医療センター          副センター長 槌西 圭子さん（看護師）          「認知症の人への対応・チームオレンジの紹介」          講師：同センター 精神保健福祉士 藤元 歩さん          ③質問等          ④閉会式</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会役員が中心となって企画して実施しました。				
苦労した点	地域住民への広報				
活動状況	<p>☆支え合いをつくる3つの「お互いさま」☆          地域で支え合いの関係を築いていく上で、私たちが大切にしたい3つの「お互いさま」があります。</p> <p>①私のできることが、私の元気の源に！だから、「お互いさま」          自分の暮らす地域で誰かに必要とされ、「誰かの役に立っている」という実感を持つことは、毎日の住みやすさや生きがいのある暮らしにつながります。</p> <p>②おせっかいが「ありがとう」に変わる！だから、「お互いさま」          「放っておいて」と言われても、困っている人に手を差し伸べるなど、一歩踏み出す勇気で支え合いが生まれます。</p> <p>③「将来きつと、自分もお世話になる」だから、「お互いさま」          今、地域の人が抱えている「日常生活の中でのちょっとした困りごと」は、「将来の自分の困りごと」です。私たちは、年を重ねていけば、誰かの支えが必要な時がやってきます。          自分の望む暮らしをするために、今困っている人を支えるのは「お互いさま」です。</p> <p>「お互いさまの地域づくりを目指して」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>認知症の人への対応</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>①認知症の人の気持ちを理解しましょう</li> <li>②対応に困る認知症の症状について</li> <li>③認知症の人への対応事例</li> </ol> </div> <div style="width: 45%;"> <p>脳の役割り</p>  <p>「認知症について」</p> <p>③地域で活動しているチームオレンジの紹介</p>  </div> </div> <p>「認知症の人への対応・チームオレンジの紹介」</p>				
活動の成果	仁方地区における昨年度からの呉市社会福祉協議会の取組などの説明や認知症の医学的見地からの解説及び認知症の人への対応などを学び、質疑応答などにより、住みよい仁方のまちづくりへの取組の一助となった。				



番号	26	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原ホタルの里開放事業・ホタル育成事業			事業費	176,000円
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、地域住民によって整備された「宮原ホタルの里」を、ホタルが羽化する6月に一般開放して鑑賞できるようにするため、環境保全など維持管理に努めている。また、子どもたちにも自然環境美化へ関心を導くため、地区内の小学校で育成方法を学びながらホタルの幼虫を育てる取組や、ホタルの里を宮原地区の宝として広くPRするため、「宮原ホタルん」をイメージキャラクターとした広報活動を行っている。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞 緑化大賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園の隣接地（約600㎡）の整備、神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造、あじさいの植樹を行うなど、多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。その後毎年、地域住民、地元小・中・高校生と連携し行事や清掃、観察会等を実施している。令和5年度は、ホタルの幼虫の放流ができず「宮原ホタルの里」でのホタルの飛翔が見込めなかったため、観賞会は、宮原まちづくりセンターの室内に蚊帳をはり、成虫のホタルを購入し開催した。オープニングセレモニーとして、人形劇、ホタルの放翔等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 5日 ホタルの里清掃活動</li> <li>・6月 10・11日 ホタル観賞会 来場者数170人</li> <li>・7月 19日 あじさい剪定</li> </ul> <p>また、平成29年度に誕生したご当地キャラ「宮原ホタルん」を活用し、着ぐるみがイベントに参加したり、グッズを作成して地域に配布したほか、まちづくりセンターでホタルの育成に取り組んでいる。</p>				
企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心となって、自治会連合会等の地元団体や学校などの協力を得て行った。 引き続き地元の住民や学校の協力を得ながら管理運営を行う。</p>				
苦労した点	<p>後継者不足のため、ホタルの里の維持管理及びホタルの育成が思うように進まず、ホタルの里での観賞会は見合わせた。新たな方法として、ホタルの成虫を購入し、まちづくりセンターの室内に蚊帳をはり実施したが、ホタルの扱いに苦慮した。</p>				
活動状況	 <p>ホタルの里清掃活動</p>		 <p>ホタル観賞会オープニング（人形劇）</p>		
	 <p>ホタル観賞会オープニング（ホタルの放翔）</p>		 <p>ホタルの観賞会</p>		
活動の成果	<p>宮原地区において広く活動が周知されている。特に、学校との連携が深まり、清掃活動及びあじさい剪定については、学校主体での実施が定着してきた。</p>				




番号	27	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	みんなで防災を考える集いin宮原2023			事業費	150,000円
事業の目的	近年、国内各地で毎年のように甚大な被害を及ぼす激甚災害が起こっている。こうした中、多くの住民が万一の時に「自分の命は自分で守る」ための防災知識を学ぶことによって、それぞれの防災意識を高めることを目的とする。				
事業概要	日時：令和5年12月2日（土）9時00分～12時00分 場所：宮原中学校体育館 参加人数：約300人 内容：中学生発表 1年生 防災フィールドワーク 2年生 大規模災害対応訓練施設で学んだこと 体験ブース、展示の見学 ・マイタイムラインを作ろう ・わたしの非常持ち出し品は何？ ・地震の体験をしよう・土石流の実験 ・段ボールベッド・新聞紙スリッパを作ろう ・応急救護「あっぱくん」 ・非常食体験 ・展示コーナー ・PTAが作る焼き芋コーナー				
企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会、宮原地区自主防災リーダー、宮原中学校生徒、宮原中学校PTA				
苦労した点	中学校と連携しての開催は5年目となり定着してきたが、今年度は、新たに地域清掃活動事業の「PTAが作る焼き芋コーナー」を同時開催したために、PTAとも綿密に計画をした。				
活動状況	 <p>非常食体験</p>		 <p>応急救護「あっぱくん」</p>		
	 <p>土石流の実験</p>		 <p>PTAが作る焼き芋コーナー</p>		
活動の成果	地域住民と中学生が共に考えることにより、防災意識が相乗的に向上した。中学生もスタッフを担い、ジュニア防災リーダーとしての自覚が促された。				




番号	28	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	地域人材活用事業			事業費	約170,000円
事業の目的	地域の新たな担い手として期待される「まちづくりサポーター」が、自主的そして積極的にまちづくり活動を行えるように、その拠点となる「ふれあい集会所」を有効に活用するためにこれまでもオーニングの設置等改修を行ってきた。昨年度に引き続き、使用する際の損耗料を負担するなどの支援をすることで、地域の人材をまちづくりに活かす。				
事業概要	「ふれあい集会所」の損耗料を令和5年4月～令和6年3月の各月負担				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会の四役会議で企画立案し、あらたにまちづくり委員会のメンバーに加わった「まちづくりサポーター」と協働し事業を行った。				
苦労した点	まちづくりの拠点とする「ふれあい集会所」は老朽化が徐々に進行しており、地域人材が活動しやすく、施設を維持していくための新たな方策を捻出するのに苦心した。				
活動状況	 <p>オーニング全景</p>		 <p>天応de出張販売</p>		
	 <p>ふれあいカフェ</p>		 <p>だがしや「Enえん」</p>		
活動の成果	まちづくりの拠点である「ふれあい集会所」の機能向上、維持管理費の間接的支援を行うことにより、まちづくりサポーターや地域活動団体の活動が円滑に行われたことにより、ひいてはまちづくりの中心となる人材の資質の向上につながり、また、各種イベントの開催が増え、天応町民に癒やしと活気を与えることができた。				

番号	29	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応地区「はたちの集い」			事業費	約610,000円
事業の目的	二十歳を迎える方を，家族，友人，地域の皆でお祝いし，地域の良さを再認識してもらう機会とすること。				
事業概要	<p>日時：令和6年1月8日（月・成人の日） 10時～</p> <p>場所：天応まちづくりセンター 3階ホール</p> <p>対象者：令和5年度に二十歳を迎える方</p> <p>内容：（1）はたちの集い（式典）  （2）懇親会第1部  ○天応学園生徒有志のソーラン踊り，○恩師と懇談，  ○思い出ビデオ上映  （3）懇親会第2部  ○笹酒セレモニー，○ぜんざい餅の振る舞い</p>				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会及び二十歳の有志				
苦労した点	以前から「成人式」に合わせて行っていた「笹酒まつり」を，規模を縮小しながらではあるが「笹酒セレモニー」として継続している。しかしながら，年々竹の調達，加工ができる人が少なくなっている。				
活動状況	 <p>記念撮影</p>		 <p>はたちの誓い</p>		
	 <p>天応学園生徒有志のソーラン踊り</p>		 <p>笹酒セレモニー</p>		
活動の成果	天応まちづくり委員会の所属団体メンバーと二十歳の有志が，共に式典の企画・運営を行うことで，地域の子どもの成長を地域全体で祝うことによって，地元への愛着を深め，地域の活性化を図ることができた。				



番号	30	団体名	昭和地区青少年補導員連絡協議会	代表者	細川 節生
事業名	青少年健全育成会・非行防止標語普及事業			事業費	200,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に公募した「青少年の健全育成・非行防止標語」の普及を図ること</li> <li>・昭和地区青少年補導員連絡協議会の活動を地域に理解していただくこと</li> </ul>				
事業概要	<p>令和5年8月から9月にかけて募集した「青少年の健全育成・非行防止標語」の最優秀作2点をポスターにして、昭和地区の公共施設、学校、事業所、店舗などに配布し、掲示していただきました。【作製枚数400枚】</p> <p>また、標語を用いたボールペンを作成し、啓発用品として補導員や学校、公共機関などの関係者に配布しました。【作製数360本】</p>				
企画・実施した人	<p>昭和地区青少年補導員連絡協議会（事業の企画・調整・実施）</p> <p>昭和地区の公共施設、学校、事業所、店舗等の皆さん（ポスターの掲示）</p> <p>昭和中学校アート部・昭和北中学校美術部の皆さん（ポスター図案作製）</p>				
苦労した点	<p>標語募集の準備から始まり、審査・受賞作の決定・図案作製・物品発注・配布まで、一連の作業が年度末まで継続するので、行程管理に苦労しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>昭和北中学校アート部</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昭和中学校美術部</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>表彰式の様子</p> </div>				
活動の成果	<p>地域の皆さんが標語を考えることにより、多くの方々が青少年の健全育成を意識することにつながりました。</p> <p>また、ポスターについては、補導員が自宅に貼るなど、広く地域に浸透する取り組みとなりました。</p>				

番号	31	団体名	昭和南小学校	代表者	学校長
事業名	郷土料理「八寸」について学ぶ会			事業費	50,000円
事業の目的	郷土と伝統文化を大切にし、郷土を愛すること				
事業概要	4年生を対象にして、女性会の指導のもと、昭和地区の伝統料理である八寸（はっすん）の由来などを学びながら、八寸づくりを体験しました。				
企画・実施した人	昭和南小学校 昭和西女性会				
苦労した点	食材の管理や調理器具の準備に留意しました。				
活動状況					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>当日の様子</p> </div>				
活動の成果	八寸の歴史や地域のつながりについての話を聴くことで、八寸に込められた地域の願いや想いに気づき、多くの児童が地域の伝統を受け継ぐ気持ちを持つことができました。				





番号	32	団体名	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会	代表者	曽根 誠治
事業名	第18回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,184,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の皆さんに、野外で体験できる様々なイベントを提供することにより、子どもや家族のふれあいを促進すること</li> <li>・昭和地区の様々な公益的団体が実行委員会を組織して、地域に貢献すること</li> </ul>				
事業概要	<p>昭和まちづくりセンター、昭和体育館、野外活動センター、焼山公園を会場にして、見て・触れて・体験できる様々なイベントを実施しました。</p>				
企画・実施した人	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会 昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	実施会場が分散したため、円滑な来場や運営を確保することに留意しました。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;">  </div> <div style="width: 48%;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>当日の様子</p> </div>				
活動の成果	<p>コロナ禍による中止を隔てての実施となりましたが、多くの来場者（約2千人）を迎え、地域の交流を促進することができました。 また、各地域団体が垣根を越えて連携することができました。</p>				





番号	33	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	150,000円
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。  時間：10時～13時  内容：今年度は昨年度と同様に、サロンの歌、今月の歌、各種趣味講座等は中止として、健康体操やお誕生日会など実施し、ステージイベント等を楽しんだ。また、コロナ禍の空白期間を経て、今年度から昼食会を再会し地域の方々の語らいの場を作ることとした。  特徴：地元の団体と連携し実施。  小中学校や警察・交通安全協会等の協力により講演会や生活安全指導を実施。参加者は、現在120人（うち協力員40人）が参加する市内最大のサロンとして毎月のサロンを継続している。</p>				
企画・実施した人	サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）				
苦労した点	各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 さまざまなイベントが再開される中で、コロナ前のサロン通常開催を模索し、段階的に昼食会やおしゃべり会を増やしていった。また、参加者のコロナに対する意識に配慮し、今までの感染対策を考えながら、参加者の精神的負担にならないような内容で、講座やイベントを行うことに各協力員が苦慮した。				
活動状況	 <p>ステージイベント</p>		 <p>レクリエーション</p>		
	 <p>交通安全教室</p>		 <p>健康教室</p>		
活動の成果	郷原全地区の方々が対象となっていることで、日頃会話をする事のない人たちと交流を深めることができ、おたがいが理解しあい、楽しく、時には体を動かし、生きがいを感じる事ができる憩いの場となっている。また、月に1回の定期開催で集まりやすい環境として、郷原地区の交流の場となり、貴重な時間を過ごしている。				



番号	34	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	各種スポーツ大会			事業費	160,000円
事業の目的	郷原地区体協が5つの各種スポーツ大会を開催することによって、郷原町民の健康増進と地域住民同士の交流により親睦を深める。				
事業概要	<p>第25回郷原町グラウンドゴルフ大会  日時・場所：令和5年6月11日（日） 8時～ ・グリーンヒル郷原グラウンド</p> <p>第18回郷原町民バドミントン大会  日時・場所：令和5年7月9日（日） 9時～ ・郷原小学校体育館</p> <p>第56回郷原町青少年ソフトボール大会  日時・場所：令和5年8月13日（日） 8時30分～・焼山公園 多目的広場</p> <p>第45回郷原町民ロードレース大会・第38回郷原町駅伝競走大会  日時・場所：令和5年12月9日（土） 8時40分～・郷原町内</p>				
企画・実施した人	郷原地区体育協会				
苦労した点	新型コロナウイルス感染症による大会開催等の自粛期間が長かったことと郷原町民の人口減少の影響により、参加者集めに苦慮した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>グラウンドゴルフ大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バドミントン大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ソフトボール大会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ロードレース大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駅伝競走大会</p> </div> </div>				
活動の成果	スポーツを通じて、住民のスポーツへの関心を高め、地域の活性化やスポーツ振興を図ることができた。また、次世代の子どもたちと地域とをつなぐ機会を確保できた。				





番号	35	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町盆踊り・花火大会			事業費	1,350,000円
事業の目的	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、4年間開催されていなかった「郷原町盆踊り大会」を「郷原町花火大会」と同時に開催した。小・中学校PTAや各種団体の協力により、屋台や交通整理・警備など、いままで以上の盛り上がりで、子どもたちに貴重な夏の思い出となった。				
事業概要	<p>盆踊り大会と花火大会を同時開催。          日時：令和5年8月12日（土） 18時30分～          盆踊り大会会場：郷原まちづくりセンター イベント広場          内容：盆踊り，カラオケ大会，屋台など          花火打ち上げ場所：黒瀬川河川防災ステーション周辺          （郷原まちづくりセンターの近くで盆踊り大会の会場から花火を見ることが出来る）          内容：仕掛け花火や，大小合わせて約180発の花火が上がり，郷原町の夜空を彩り，郷原名物の城山を照らした。</p>				
企画・実施した人	郷原町まちづくり推進委員会				
苦労した点	盆踊り大会と花火大会を同時に行うことで，準備や交通安全対策などに配慮が必要とされた。また，駐車場の確保や花火の打ちあげ場所の調整などに苦慮した。				
活動状況	 				
活動の成果	盆踊り大会と花火大会を同時に開催することにより，郷原町が活気に溢れ，子どもたちにとっての貴重な夏の思い出と，地域の賑わいを取り戻すことができた。				







番号	36	団体名	下蒲刈町まちづくり協議会	代表者	渡邊 哲宏
事業名	とんど祭り			事業費	330,000円
事業の目的	<p>伝統文化の継承と地域コミュニティの醸成  過疎化が顕著な地域において、子どもから高齢者まで住民が一堂に会し、みんなで無病息災を願う。</p>				
事業概要	<p>日時：令和6年1月28日（日）10時00分～  場所：丸谷（三之瀬），大津会館広場（下島），漁港広場（大地蔵）  下蒲刈町内の3自治会がそれぞれの地区でとんどを作り、午前10時各地区一斉に点火する。  来場者には自治会が餅を販売（地元の子ども，70歳以上の高齢者は無料）し，とんどの火で餅を焼き無病息災を願う。また，点火前に消化器による消化訓練を実施し，防火の意識を高める。</p>				
企画・実施した人	下蒲刈町まちづくり協議会，下蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点					
活動状況					
	大地蔵地区		下島地区		
					
	三之瀬地区		消火訓練		
活動の成果	子どもから高齢者まで一堂に会し，地域コミュニティの醸成ができた。				

番号	37	団体名	下蒲刈地区自治会連合会	代表者	原田 敏信
事業名	令和5年度呉市下蒲刈地区はたちの集い			事業費	70,000円
事業の目的	地域をあげて二十歳を迎えた成人を祝福するため、式典及び祝いの茶会を開催する。				
事業概要	日時：令和6年1月7日（日）13時20分～14時30分 会場：蘭島閣美術館（式典），白雪楼（茶会） はたちの同窓会（下蒲刈市民センター） 内容：式典（はたちの誓い，近況報告） 記念写真撮影（新成人及び主催者・来賓） 茶会（新成人・恩師）				
企画・実施した人	下蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点					
活動状況	<div style="text-align: center;"> <h3 style="color: green;">蘭島閣美術館</h3>   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <h3 style="color: red; background-color: blue; border-radius: 50%; padding: 5px;">白雪楼 茶会の様子</h3>   </div>				
活動の成果	二十歳を迎えた成人の新たな門出を祝うことができた。				



番号	38	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村 誠二
事業名	防災手作りカレンダーを贈ろう			事業費	100,000円
事業の目的	町内外で活動されている地元の方を講師として招き、美術科で絵手紙の描き方を学び、技術科で学習する情報技術を活用した手作りカレンダーを川尻中学校1年生全員で作成し、民生委員の方と共に地域にお住まいの一人暮らしの高齢者宅を訪問し、手作りカレンダーを配布する活動を通じて、地域の方々と交流を深めることや、地域に貢献しているという達成感や郷土愛を育てることを目指す。				
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>&lt;9月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の取組について川尻中学校1年生によるプレゼンテーション(9月12日(火)実施)</li> <li>・絵手紙の作成(カレンダー挿絵)</li> </ul> <p>&lt;10月～11月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダー作成</li> </ul> <p>&lt;12月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方と打合せ(12月8日(金))</li> <li>・カレンダー訪問配布</li> </ul>				
企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 呉市第2・3区民生委員児童委員協議会, 呉市立川尻中学校				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	 <p>日野先生による絵手紙指導</p>  <p>民生委員と打ち合せ</p>  <p>訪問配布</p>  <p>訪問配布</p>				
活動の成果	<p>川尻中学校1年生と民生委員の方で、キャリアスタートウィークでお世話になる企業や地域の高齢者宅などを訪問し手作りカレンダーを直接配布した。その際、生徒自身が高齢者に温かい言葉をかけ関わろうとする姿が伺え、幅広い世代での世代間交流の機会を設けることができた。</p> <p>また、地域の方からは「いつも楽しみにしているよ。今年もよく来てくれたね、ありがとう」と言葉をかけられ、生徒からは「地域の方々の喜ぶ姿が今まで以上に繋がりを感じる事ができ、とても嬉しかった。」「近くに住んでいる地域の人と知り合えて良かった。災害時に活かしたい。」などの感想があり、地域の方々との交流を深めることができた。</p>				

番号	39	団体名	川尻地区自治会連合会	代表者	橋本 民夫
事業名	令和5年度川尻地区自主防災総合訓練			事業費	57,682円
事業の目的	平成23年3月に発生した東日本大震災、平成26年8月に発生した広島市豪雨災害及び平成30年7月に呉市を襲った豪雨災害の訓練を踏まえ、南海トラフ地震や土砂災害対策として、川尻地区住民を対象に、住民の避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、住民一人ひとりが安全・確実に避難するための避難経路や負傷者の救護・搬送、避難所生活運営方法などを確認し、地震及び土砂災害発生時の心構えと備えについて学ぶための訓練を目的とする。				
事業概要	<p>【日時】 令和5年12月17日（日）9時30分～11時45分</p> <p>【場所】 川尻グラウンド</p> <p>【内容】 ①開会式  ②天ぷら油火災実験  ③救出、担架作成・搬送訓練  ④煙中体験、心肺蘇生訓練  ⑤土のう作成訓練  ⑥通報・初期消火訓練  ⑦段ボールベッド・簡易トイレ組み立て、使用体験  ⑧活動のパネル展示（※訓練中随時）  ⑨閉会式</p>				
企画・実施した人	呉市川尻地区自治会連合会、呉市川尻地区老人クラブ連合会、呉市赤十字奉仕団川尻分団、呉市第23区民生委員児童委員協議会、呉市消防団川尻地区隊、呉市立川尻小学校、呉市立川尻中学校、広警察署川尻駐在所、呉市東保健センター川尻保健出張所、呉市東消防署川尻出張所、川尻地区防災リーダー				
苦労した点	日程調整、町民への周知方法（参加者を募るため）				
活動状況	 <p style="text-align: center;">煙中体験</p>  <p style="text-align: center;">心肺蘇生訓練</p>  <p style="text-align: center;">初期消火訓練</p>  <p style="text-align: center;">段ボールベッド・簡易トイレ組み立て</p>				
活動の成果	訓練当日は、川尻地区自治会員他、約270人が参加して「川尻地区総合防災訓練」を実施した。開始前には雪が降っており、天候が心配されたが参加者の熱気で訓練開始の10時には雪もやみ、地元防災リーダー、消防団、呉市消防署川尻出張所の指導のもと、中学生ボランティアによる段ボールベッド・簡易トイレの作成をはじめ、天ぷら油火災実験や初期消火訓練、煙中体験など予定どおりの訓練ができ、参加者全員で災害発生時の心構えと備えについて学ぶことができた。				



番号	40	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村 誠二
事業名	令和5年度 川尻町はたちの集い			事業費	167,571円
事業の目的	<p>はたち対象者が企画・運営を担い始めて14年目となる「実行委員会」の活動は、地域全体で祝う「はたちの集い」の開催に向けて、実行委員・保護者や女性会などと連携し、一生の思い出となるように準備と当日の運営を行う。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】  ①懇親会の企画立案 ②懇親会会場設営・リハーサル ③当日運営（対象者受付・式典司会・懇親会の司会運営）</p>				
事業概要	<p>【実行委員会】  第1回 8月17日（木） 昨年度のはたちの集いの様子，今後のスケジュール  第2回 11月4日（土） 懇親会企画書の説明，役割分担  準備 1月5日（金） 懇親会会場準備・リハーサル</p> <p>【当日】  1月7日（日）  9時30分～ 打合せ・受付準備（事務局・実行委員・女性会）  10時00分～ 受付（実行委員・女性会）  10時30分～ 記念撮影  10時50分～ 式典{主催者挨拶，来賓祝辞，来賓紹介，はたちの誓い}  11時30分～ 懇親会{恩師エピソード披露，思い出ムービー上映，抽選会}  12時30分～ 後片付け（事務局・実行委員・女性会・参加者）</p>				
企画・実施した人	実行委員（前年度対象者・今年度対象者・次年度対象者・今年度対象者保護者・地区社協代表者・市民センター担当者），女性会				
苦労した点	実行委員会は対象者の内，中学校当時の生徒会役員を中心に活動を行うが，学生等で市外在住者が多いため，実行委員会結成にあたっての連絡やはたちの集いの企画・準備の調整に時間を要した。				
活動状況	 <p>記念撮影</p>  <p>はたちの誓い</p>  <p>実行委員</p>  <p>懇親会(思い出ムービー上映)</p>				
活動の成果	<p>当日は対象者41名が参加した。参加者からは「今後は学年全体でこんなに大勢で集まることは難しくなると思うので，この会を開催してもらえて良かった。」「久しぶりに先生にも会えた。参加して良かった。」などの声があった。</p> <p>また，「はたちの集い」の企画立案や前日及び当日の準備・運営に当該年度実行委員が関わることで，手作り感のある温かい式となった。</p>				

番号	41	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	沖田 徹
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,618,610円
事業の目的	<p>安芸灘大橋有料道路が2000年に開通したことを基に、川尻町の魅力向上及び活性化を目的に始まった「かわじり元気まつり」は、毎年11月の第3日曜日に開催し、毎年約5,000人の来場者で賑わう。</p> <p>開催までに、実行委員会・企画部会(合計9回)・バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も準備や当日運営にボランティアとして協力し、地域交流と共にまつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」          日時 令和5年11月19日(日)9時～15時30分          場所 川尻グラウンド          【オープニング】野呂岩海太鼓(野呂岩海太鼓保存会)          【メインステージ】          ・筆のパフォーマンス(広高校書道部)・ひびけ!野呂太鼓(川尻小学校6年生)・かがやけ かがやきっ子(認定こども園かがやき)・吹奏楽演奏(川尻中学校吹奏楽部)・川尻優秀農産物発表・DDGダンスショー(DDG)・プロ写真家 竹内裕二ステージトーク・かわじりモノ尻〇×クイズ・かが太鼓～あ～(海上自衛隊護衛艦かが)・ラムネ早飲み大会・天才☆ヨコヤマの愉快的LIVE! TALK&amp;LIVEショー藤江潤士・ryo-suke with横山雄二・ラッキーナンバーゲーム他          【わくわくイベント】          ・プロ写真家 竹内裕二 青空写真館・スカイビュー・呉氏すべり台・呉氏バウンサー・ちびっこ迷路他          【食の元気市】猪バーガーや猪汁などジビエ料理、広域8町特産品販売など。</p>				
企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・協賛企業				
苦勞した点	毎年、マンネリ化しないよう新企画の策定、それに伴う自主財源の確保、来場者の駐車場確保、会場内への誘導等警備、当日スタッフの役割分担など。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ステージイベント</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>わくわくイベント</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>食の元気市</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>プロ写真家 竹内裕二 青空写真館</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>今後もイベントを継続していくため、新たに事業所へ協賛の依頼を行い多くの賛同と協力を得ることができ、新規協賛企業が27社増えた。出展ブースも40店と昨年より5店増え、イベントには約6,000人が来場し盛大に開催することができた。</p> <p>今年は、川尻町出身でプロ写真家の竹内裕二さんを迎え、ステージトーク・カメラ越しの「地元愛」やブースでの青空写真館を開催した。青空写真館ではプロのスタイリストがヘアメイクを行い、竹内さんにワンショット撮影をしてもらえ、参加者からは「プロの写真家に撮ってもらうことがないので、貴重な体験になった」などの意見をいただいた。</p>				



番号	42	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村 誠二
事業名	「祇園さん」再生プロジェクト			事業費	46,662円
事業の目的	桜・ツツジの名所として昔から親しまれてきた八雲公園（祇園さん）。昔はお花見シーズンになると、観光協会の方がぼんぼりを飾り夜間照明が点灯し東部地区の憩いの場となっていた。しかし近年、桜の老朽化やツツジ等の管理がされておらず、荒廃した状態となっている。この現状をまちづくりの一環として長期的に取り組み、八雲公園を憩いの場として再生を図る。				
事業概要	【日時】 令和6年1月27日（土）9時～12時 【場所】 八雲公園 【内容】 ①チェーンソーなどでツツジ等の伐採 ②剪定用ノコを使用し枝打ち ③参道及び里道など周辺の整備 ④炊き出し（作業終了後）				
企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会，川尻町観光協会，町区祭礼保存会，呉広域商工会青年部川尻支部，呉市川尻地区老人クラブ連合会				
苦労した点	・住民への事業の周知方法（初めての取り組みのため諸団体へ協力を依頼した）。 ・駐車場の確保（作業現場及び近隣には駐車場が無いため，臨時駐車場の手配と周知が十分にできなかった）。				
活動状況	 <p>作業前の様子</p>		 <p>作業中の様子</p>		
	 <p>作業後の様子</p>		 <p>老人クラブによる炊き出し</p>		
活動の成果	新たなまちづくり普請事業として実施し，52名の参加があり，大きなケガなどはなく，無事に終了することができた。作業箇所から石碑が現れ「祇園公園」と表記があり，見つけた方が「公園の名称が様々だ」と言われていた。参加者からは「伐採したことにより，作業箇所の上から町の景色が見えるようになり，昔の風景が戻ってきている」と喜びの声をいただいた。また，「早めに再度作業をしないと元に戻ってしまうので，次の作業日を決めた方が良い」など，次回への前向きな意見を多数いただいた。				

番号	43	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	音戸ふれあい朝市			事業費	800,000円
事業の目的	住民同士のふれあいや、三世代が楽しく交流できる場を提供するとともに、町内のにぎわいづくりと地域活性化、地産地消による食の推進を図るため、平成20年10月に第1回目を開催し、以降毎月1回、原則第1土曜日にふれあい広場（旧音戸町役場跡地）で開催している。				
事業概要	日時：原則毎月第1土曜日 10時～12時頃 場所：ふれあい広場（旧音戸町役場跡地） 内容：新鮮な野菜や魚介類、タコ天、炊き込みご飯、細うどんなどの販売や、キッチンカーの誘致の他、プロ野球観戦券などが当たるお楽しみ抽選会や、保育園園児や小中学校生徒による歌や踊りなどの披露なども実施している。				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会				
苦労した点	熱中症対策として、8月は朝市を中止するなどの夏場の暑さ対策に苦慮しており、今後も継続して対策を検討する必要がある。				
活動状況	 <p>野菜販売コーナーに長蛇の行列</p>		 <p>お魚販売車</p>		
	 <p>保育園児の太鼓</p>		 <p>音戸中学吹奏楽部</p>		
活動の成果	今年度は新型コロナウイルス感染症も5類に変更されたことにより、天候不良による中止以外は順調に開催することができた。保育園児のミニイベント等の際には、家族等の多くの来場者があり賑わいを見せていた。				



番号	44	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	消防車スケッチ大会			事業費	312,000円
事業の目的	<p>次世代を担う子ども達に対し、音戸の瀬戸を背景に消防車両を描き、ビンゴゲームや屋台風模擬店で消防団員と交流することにより、消防に関する興味と関心を持ち、将来は消防団員になりたいと思ってもらえるようなきっかけづくりとし、また、煙中体験をすることで、火災発生時の煙の怖さ・避難の方法を学んでもらうことなどを目的に消防車スケッチ大会を開催した。</p>				
事業概要	<p>日時：令和5年6月18日（日） 9時～12時  場所：音戸市民センター前庭  内容：参加者に画板、画用紙、クレヨンを配布し、名簿に住所、氏名等を記入受付後、随時スケッチを開始する  ◎模擬店及び消防啓発コーナー 9時40分～11時  ◎ビンゴゲーム大会 11時15分～（現場の状況により前倒しする。）  スケッチ終了後、絵を提出し、ビンゴカード、フリーパス券を配布  終了 11時50分 片付け開始  ◎展示・表彰  入選作品を音戸市民センターロビーに展示（8月1日（火）～8月31日（木））  入選者の表彰を、9月2日（土）朝市会場で行った。  （副賞として朝市商品券等を贈呈）</p>				
企画・実施した人	呉市消防団音戸地区隊・音戸町まちづくり協議会事務局				
苦労した点	今年度は、画板をテーブルに代え試行的に実施した。				
活動状況	 <p>スケッチの様子</p>		 <p>消防車両</p>		
	 <p>煙体験</p>		 <p>ビンゴゲーム</p>		
活動の成果	多くの参加者があり、消防職員及び消防団員との楽しい時間を共有し交流を深めることができ、併せて消防団の啓発を行うことができた。				



番号	45	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	音戸町消防大会			事業費	250,000円
事業の目的	<p>呉市消防団音戸地区隊の日ごろの訓練の成果を広く市民に披露するため、分団対抗缶打ち競技を実施、併せて同会場において朝市を同時開催し、市民と消防団員、参加スタッフの交流の場を設け、活力のあるまちづくりに資することを目的とする。</p>				
事業概要	<p>日時：令和5年11月5日（日） 9時～11時30分  場所：波多見小学校  内容：  ① アトラクション 9時15分～  なぎさ音戸保育園、音戸中学校、西消防署音戸分署  ② 朝市 9時30分～  ③ 缶打ち競技 9時45分～  ・競技方法 旧分団（10分団）対抗によるトーナメント方式（計10試合）  ・表彰 優勝・準優勝・第3位を表彰  ・来賓 呉市長、呉市消防団長、呉市議会議員、呉警察署音戸分庁舎長、西消防署音戸分署長、各自治会長、波多見小学校長、音戸中学校長、なぎさ音戸保育園長</p>				
企画・実施した人	呉市消防団音戸地区隊・音戸町まちづくり協議会事務局				
苦労した点	会場への物資の搬入搬出				
活動状況	 <p>開会式</p>		 <p>アトラクション</p>		
	 <p>缶打ち競技</p>		 <p>朝市</p>		
活動の成果	消防団、参加スタッフ、来場者のふれあいにより、相互の交流を深めるとともに、地域の活性化に寄与できた。				



番号	46	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	早瀬大橋開通50周年記念事業			事業費	2,252,800円
事業の目的	早瀬大橋が開通して50周年の節目を迎えるにあたり、江田島市大柿地区と呉市音戸地区が協働して記念事業を開催することにより、早瀬大橋の恩恵に感謝するとともに、地域の観光振興並びに地域の交流や活性化に寄与することを目的とする。				
事業概要	<p>日時：令和5年10月22日（日） 10時～20時  場所：江田島市 ビュッカグランピング  呉市 早瀬パブリックセンター</p> <p>内容：</p> <p>(1) 記念式典(10時00分～10時40分)  会場：ビュッカグランピング（大柿町大君2389-2）  出席者：江田島市・呉市両市の市長，自治会長，女性会長，協賛団体等</p> <p>(2) 早瀬大橋のライトアップ（10月22日日没～22時頃（ピンクリボン運動））</p> <p>(3) ステージイベント(11時00分～)  大柿ステージ：ビュッカグランピング（大柿町大君2389-2）  ① 10時00分～ 記念式典  ② 11時00分～ 音楽ライブ  ③ 日没後～ 映像ライブ  音戸ステージ：早瀬パブリックセンター（音戸町早瀬2-53-1）  ① 11時00分～15時30分</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早瀬大橋開通50周年記念事業実行委員会</li> <li>・音戸町まちづくり協議会事務局</li> </ul>				
苦労した点	江田島市との調整				
活動状況	 <p>関係者集合写真</p>		 <p>早瀬大橋ライトアップ</p>		
	 <p>ボンネットバス臨時運行</p>		 <p>音戸清盛太鼓の披露</p>		
活動の成果	早瀬会場，大柿会場とも多くの来場者があり，楽しい時間を共有し交流を深めることができ，呉市と江田島市両市の活性化に寄与できた。				

番号	47	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	音戸フェスティバル&マルシェ (音戸フェスマル)			事業費	1,478,0000円
事業の目的	これまで長く続いた、音戸フェスティバルに代わるイベントとして、新たに音戸フェスティバル&マルシェ (略称『音戸フェスマル』) と題し、著名な建築家隈研吾氏が設計した音戸市民センターを使って、食べる・見る・聞く・遊ぶを誰もが楽しめて、音戸を自慢したくなるものを目指し、文化団体連合会主催の総合展示会と音戸高等学校文化祭とも融合したかたちで開催し、交流と地域の活性化に資することを目的とする。				
事業概要	<p>日時：令和5年11月19日 (日)  場所：音戸市民センター周辺  内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ企画  西棟2階ホールに音戸湾内を望むかたちでステージを配置し、音戸清盛太鼓のオープニングを皮切りに、保育園児の踊りや太鼓、呉氏・呉氏Jrのダンス、「音戸の舟唄」、バンド演奏などを披露。フィナーレでは豪華景品が当たる抽選会を開催。</li> <li>・飲食・販売企画  西棟前庭に、まちづくり協議会構成団体等による模擬店を配置し、2階テラスにはパンタスティック (パンの即売) を招致。  東棟駐車場エリアには雑貨販売コーナーや、マツダ車を展示し地域産業のPR、併せてミニヤギ、犬猫譲渡会を設け動物との触れ合いの場を設けた。</li> <li>・文化祭企画  東棟を活用し、音戸地区文化団体連合会による総合展示会と音戸高等学校文化祭を同時に開催し、音戸の文化の発信とともに、高校生にはこうした経験が音戸での高校生活の貴重なものの一つとなった。  2階ホワイエには、大人も子供も楽しめるワークショップを配置し、また、隈研吾氏が設計した音戸市民センターについての説明や写真の展示を行った。  同時に、運動普及推進協議会によるウォーキングを行った。</li> </ul>				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会の役員及び事務局 協議会構成団体 (自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA連合会、商工会、音戸高等学校)				
苦労した点	来場者や出店者用の駐車場の確保、物資の買い出し				
	 <p>ステージ企画の様様</p>		 <p>マルシェエリアの状況</p>		
	 <p>音戸高等学校文化祭</p>		 <p>総合展示</p>		
活動の成果	想定を超える来場者があり、皆が楽しい時間を共有し交流を深めることができ、地域の活性化に寄与できた。				



番号	48	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業			事業費	60,000円
事業の目的	倉橋町の史跡や名所のガイドができる子供ガイドの育成を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和5年7月14日 9時30分～12時</p> <p>参加者：くらはし観光ボランティアガイドの会 ガイド講師3名，アシスタント3名，倉橋中学校1年生14名，担当教員3名，観光振興課2名，計25名</p> <p>内 容：今年くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブに入会した倉橋中学校1年生14名が，ガイド研修として，日本遺産の文化財の「亀ヶ首試射場跡」に船で上陸し，遺跡を見学，講師（ボランティアガイドの会会員）から説明を受けた。</p> <p>また，海上から倉橋島の景観を体感し，歴史・文化・伝統・産業の知識を習得した。</p>				
企画・実施した人	くらはし観光ボランティアガイドの会，倉橋中学校				
苦労した点	特になし				
活動状況	 				
活動の成果	<p>①事前授業や研修体験により，子供ガイドとしての技能や心得を習得した。</p> <p>②地域への愛着を育み，郷土に関心を持つきっかけとなった。</p>				



番号	49	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝朝市部会)	代表者	中田 正志
事業名	くらはしお宝朝市			事業費	120,000円
事業の目的	地元の新鮮で良質な農水産物や倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興を図るとともに、倉橋町の活性化を目的とする。				
事業概要	<p>日時：毎月最終日曜日 8時30分～10時30分頃  場所：倉橋桂浜温泉館 万葉の里駐車場  内容：①地元特産品等の販売  野菜・果物・魚介類・干物・コーヒー・パン・黒ニンニク・発酵食品・クレープ・焼き菓子等  ②お楽しみイベント  お買い物スタンプラリー（毎月）  ぜんざい無料サービス（12月）  そうめん無料サービス（5, 6, 7, 8, 9月）  とん汁無料サービス（4, 11月）  恐竜じゃんけん（4, 5, 7, 9, 12, 1月）  スイカ割り（7月）、ハロウィーン（10月）  石地みかんの無料配布（11月、14周年記念イベント）  紅白もちの無料配布（12月、年末イベント）  節分豆配布（1月）</p>				
企画・実施した人	お宝朝市メンバーや地元の特産品販売店が中心となって企画し、地域おこし協力隊、市職員が協働で実施する。				
苦労した点	集客・PR方法				
活動状況	<p style="text-align: center;">会場内のようす</p> 				
活動の成果	倉橋町の新鮮な特産物を販売し、地元や呉市近郊の人に積極的にPRすることにより、地域の交流や賑わいのある場を創出するのに役立った。				



番号	50	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	宝島くらはしフェスティバル			事業費	1,311,000
事業の目的	カキやお宝トマトなどの特産品の販売等を行い，広く倉橋町の良さをPRする。				
事業概要	<p>日 時：令和6年2月18日 9時～14時</p> <p>内 容：倉橋町のカキやお宝トマトなど倉橋の特産品販売，焼きカキ，餅まき，お楽しみ抽選会，倉橋湾周遊クルーズ，歴史・史跡めぐり，絵本会，くらはしカルタ，船上市場，消防署・警察署コーナーなど</p>				
企画・実施した人	宝島くらはしフェスティバル実行委員会				
苦労した点	準備，後片付けの人手が足りない。 駐車場が少なく，大渋滞となった。				
活動状況	 				
活動の成果	天候にも恵まれ，多くの来場者があり，十分PRができた。				

番号	51	団体名	蒲刈地区自治会連合会	代表者	梶本 良金
事業名	令和5年度蒲刈地区はたちの集い			事業費	約177,000円
事業の目的	蒲刈地区在住のはたちの方を地域で祝福することにより、成人としての自覚を促し地域貢献の心を養う。				
事業概要	<p>日時 令和6年1月7日（日） 10時～</p> <p>場所 蒲刈市民センター2階大会議室</p> <p>式典 開式の辞、国歌斉唱、主催者挨拶、来賓祝辞、はたちの誓い、記念品贈呈、呉市歌斉唱</p> <p>記念講演 講師 梶本 澤枝</p> <p>記念撮影</p> <p>記念植樹 県民の浜で記念碑を設置し、河津桜を植栽した。</p> <p>参加人数 新成人2名</p>				
企画・実施した人	蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	記念講演の講師の選定が進まず、なかなか決まらなかった。				
活動状況	 <p>市民センター玄関</p>		 <p>式典</p>		
	 <p>記念講演</p>		 <p>記念植樹</p>		
活動の成果	地域在住のはたちの方々に地域のみなさんから新たな門出をお祝いしていただくことで、多世代間の交流と地域コミュニティの充実を図ることができた。				



番号	52	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ビューティフルアイランド祭り			事業費	1,488,965円
事業の目的	<p>だれもが健康でいきいきと暮らすことのできる健康づくりや世代間交流を目的として、子供から高齢者まで気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に開催します。</p> <p>町外の方にも広く参加を呼びかけ、祭りに参加していただくことで豊浜町の良さ(島の香り・味・自然)のPRを行うことを目的とします。</p>				
事業概要	<p>子供から高齢者までが気楽に参加できる「ウォーキング大会」や「体力測定」のほか、各種団体の模擬店や特産品の販売、防災・防犯コーナーなどを設け行います。また、特設ステージ等では文化団体の成果発表や音楽グループ等の演奏が行われます。各種団体の協力のもと、笑顔あふれるイベントを実施します。</p> <p>【日時・場所】令和5年10月21日(土) 親水公園・豊浜中学校</p> <p>【参加者人数】ウォーキング大会 111名, プランターコンテスト 16名          イベント交流・露店 16団体, 作品の展示 8団体          健康相談・フッ素健康チェック 2団体</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦労した点	<p>準備, 片付けにたくさんの協力者が必要なこと。          天候しだいでは用意した材料などが無駄になること。          コロナ, 高齢化がすすむなか, イベント活動をやめている団体が多くなったこと。</p>				
活動状況	ウォーキング大会		プランターコンテスト		
					
	イベント交流・露店		体力測定・健康チェック		
					
活動の成果	4年ぶりの開催でしたがウォーキング大会など例年並みに多くの参加者があった。				

番号	53	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	町内クリーン作戦			事業費	322,473円
事業の目的	齋島においては、ペットボトルを始めとするプラスチックゴミや流木などの海岸漂着ゴミが問題となっている。しかし、齋島は、人口9人の小規模離島であり、島民の多くが70歳以上の高齢者であるため、海岸清掃を行うことが困難な状況となっている。このため、島外からの支援として、ボランティアを募り、齋港付近の海岸清掃を行うことで、環境の保全と生活環境の改善を図る。				
事業概要	<p>離島の齋島は、長年砂浜の漂流物ゴミの撤去を行うことが難しい状況のなか、ビーチクリーンボランティアを募集して美しい砂浜を取り戻していく。</p> <p>【日時・場所】 令和5年6月24日（土） 豊浜町齋島  【参加人数】 24名（町内ボランティア 3名 町外ボランティア 21名）</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会 ボランティア				
苦労した点	ボランティアが多く集められること。 離島なので作業時間が限られること。 ゴミの排出方法				
活動状況	<p>齋でビーチクリーン作戦</p> 				
活動の成果	ボランティア協力で齋島の美しい砂浜が復活した。 ボランティアのなかで協力したいといってくれる方がたくさんいた。				



番号	54	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	41,258円
事業の目的	<p>豊浜町の伝統的料理のレシピ本から抜粋した料理を若い世代に継承して伝統の味を守っていく。 豊浜町の食材を利用して特産開発をしていく。</p>				
事業概要	<p>豊浜町の伝統的料理を次の世代に継承していくため、地元住民の協力でたこ飯、煮しめ（魚の干物入り）、しば餅、味噌汁の伝統的料理を学び、豊浜町味などの伝統を守っていく。 開催日：令和5年12月18日（月）参加人数：13名（豊浜中2年生）</p> <p>豊浜町のひじきを使用してひじき焼きそばを広島国際大学の学生が考案し、ビューティフルアイランド祭りでひじき焼きそばを提供しました。</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会 ワーキンググループ 豊浜町地域住民 広島国際大学</p>				
苦労した点	<p>タコなどの海産物の地元産が穫れなくなってきていること。 物価が上昇している。</p>				
活動状況	<p>伝統的料理教室</p>  <p>特産品開発事業</p> 				
活動の成果	<p>豊浜町の伝統的料理を次の世代に継承する事ができた。 学生にとっては、地域住民とのふれあうことができ、良い経験になった。</p>				

番号	55	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業			事業費	91,914円
事業の目的	<p>地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する知識を高め、いきいきと安心して生活を送ることを目的とします。</p>				
事業概要	<p>広島国際大学と昭和サロンでグランドゴルフ大会を午前中に行い、午後から握力計や健康チェック等、健康学習、健康体操を行うとともに、地元高齢者との交流を行い元気なまちづくりに取り組みました。また、2回目は午前中に柑橘の収穫体験を行い、豊浜町の産業、自然を満喫し、午後から健康学習など高齢者と交流しました。</p> <p>第13回瀬戸内いきいきプロジェクト 開催日：令和5年12月17日（日） 参加人数：町内サロン24名、広島国際大学15名 健康学習：認知症予防について</p> <p>第14回瀬戸内いきいきプロジェクト 開催日：令和6年2月18日（日） 参加人数：町内サロン24名、広島国際大学12名 健康学習：転倒防止対策について</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会 豊浜町各サロン 豊浜町老人クラブ 広島国際大学</p>				
苦労した点	<p>寒い時期なので高齢者の方が集まりにくいこと。</p>				
活動状況	<p>第13回瀬戸内いきいきプロジェクト</p>   <p>第14回瀬戸内いきいきプロジェクト</p>  				
活動の成果	<p>今年で7年目でコロナ禍で中止もありましたが、広島国際大学の協力で健康チェック、健康学習及び健康体操などいろいろ工夫をしながら行ってもらい、高齢者の方も楽しく一日が過ごせたそうです。</p>				

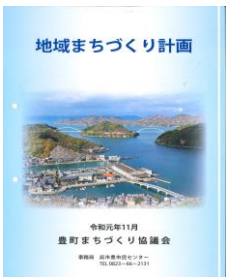
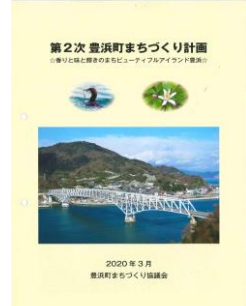
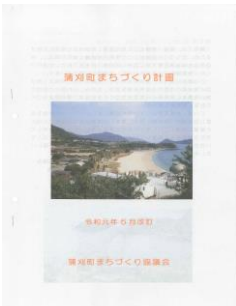
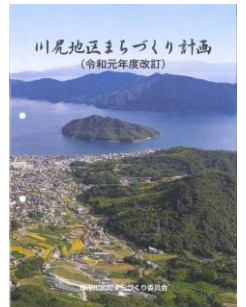
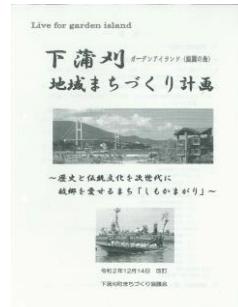
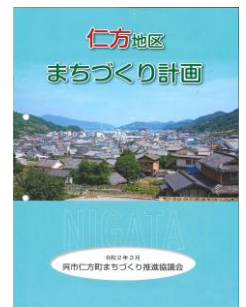
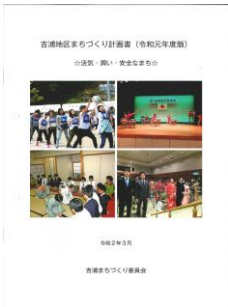
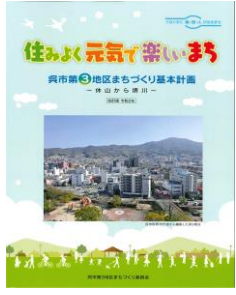
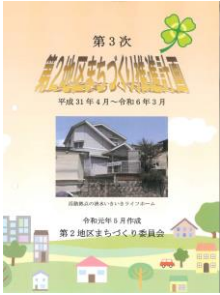


番号	56	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	令和5年度 第16回豊町産業文化祭			事業費	1,400,000円
事業の目的	出店や作品展示, ステージ発表等により, 事業者, 町民一体となって, 豊町に「にぎわい」を取り戻すイベントを実施する。				
事業概要	<p>日時: 令和6年2月10日(土) 9時～</p> <p>会場: 安芸灘交流館(豊まちづくりセンター)</p> <p>内容: ○産業部門～町内外から出店が集まり, ビンゴゲームなどのアトラクションでイベントを盛り上げている。 ○文化部門～講座や町内のカルチャークラブによるステージ発表と小中学校等を加えた作品展示を行った。</p> <p>動員数: 約800人</p>				
企画・実施した人	<p>主催: 豊町産業文化祭実行委員会(豊町まちづくり協議会, 豊町地区社会福祉協議会)</p> <p>共催: 呉市</p>				
苦労した点	<p>コロナ禍後, 初の開催であったため, 出店者及び出展者が減少してしまったことと, 当日, 多くの参加者が集まるよう町内及び安芸灘4島他町外にも広報チラシを配布した。</p>				
活動状況					
活動の成果	<p>コロナ禍後, 初の開催であったが, たくさんの来場者があり賑わいをみせていた。町内で行う久々のイベントとなったが, 一時的でも活気を取り戻すことができた。</p>				

番号	57	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	令和5年度 豊町はたちの集い			事業費	155,000円
事業の目的	豊町在住または豊町出身の若者たちを対象として、新たにはたちの門出を祝うとともに、記念式典及びアトラクション等を実施し、ふるさと豊町を再認識してもらう。				
事業概要	<p>日時：令和5年8月15日（火）10時～</p> <p>会場：安芸灘交流館 堀ばたホール</p> <p>内容：1 式典（式辞，来賓祝辞，記念品贈呈，新はたち答辞等）  2 アトラクション（新はたちによる巻きわら謝礼）  3 記念講演 講師：本末 舞（豊町出身）  東京女子医科大学病院看護部母性看護専門看護師  4 記念撮影</p>				
企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会，豊町まちづくり協議会，共催呉市				
苦労した点	新はたちを祝うため，記念品やアトラクション等，喜んでもらえるよう工夫した。また，新型コロナ5類移行に伴い，最低限の感染拡大防止対策を講じながら，家族や地域の人たちにも参加してもらえるようにした。				
活動状況	 <p>会長式辞</p> <p>新はたち答辞</p> <p>巻きわら射礼</p> <p>記念講演</p>				
活動の成果	地元開催することで，豊町出身の新はたちの門出を祝い励ますとともに，ふるさと豊町に愛着を持ってもらうことができた。				



(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。  
この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。



## **ゆめづくり事例集2023**

発行：令和6(2024)年3月

編集：呉市市民部地域協働課  
各市民センター

